

## 島根半島の成り立ち

日本列島は、日本海が形成された 2000 万年前にユーラシア大陸から隔離されました。まだ大陸につながっていた時代の地層は島根半島の東部に分布し、多くの場所で日本海拡大期の地層を見ることができます。その後、今から約 1500 万年前、日本海の拡大が停止した時期に、浅海成の堆積物が深海へ運ばれました。そして約 1000 万年前、島根半島は東西に広がりながら隆起し、約 7000 年前になると、中国山地の隆起によって形成された凹地に海水が浸入し、中海と宍道湖が形成されました。そして最後に、斐伊川や日野川の堆積物により、出雲平野、松江平野、弓ヶ浜半島が形成され、現在に至っています。

8 世紀に編纂された出雲国風土記に記されている国引き神話には、島根半島とその周辺の形成についての別の説明が書かれています。神話によると八束水臣津野という神が、領土があまりにも窮屈であると感じ、土地を大陸から引き寄せたと言われています。八束水臣津野は国を引くために大山と三瓶山を杭にし、このとき使用した綱が藺の長浜と弓ヶ浜半島を形成したと言われています。

ここは、島根半島・宍道湖中海ジオパークのエリア内です。